

2012年度（平成24年度）活動報告

I. セミナー

テーマ	講師（所属機関）	司会	期日	主催者	共催者
"A Good Amish Quilt Folded Like Money": Negotiating Value in the Country and the City	Janneken Smucker (Night Kitchen Interactive)	矢口祐人	2012.5.2	CPAS	
Barack Obama and Democracy in America	James T. Kloppenberg (Harvard University)	古矢 旬	2012.6.4	基盤研究(B) 「アメリカ保守主義レジームの成立・展開とグローバル化の関連をめぐる総合的研究」、CPAS	基盤研究(A) 「19世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究」、基盤研究(B) 「近・現代アメリカ論の系譜—学際的・比較論的視点から」、アメリカ学会
The Irish Way: Becoming American in the Multiethnic City	James R. Barrett (University of Illinois at Urbana-Champaign)	遠藤泰生	2012.6.26	CPAS	アメリカ学会
Shifting Paradigms of Juvenile Competence in US Law	Lee Tucker (The University of Arizona)	遠藤泰生	2012.7.10	CPAS	アメリカ学会
The Political Economy of Chinese Exclusion in the United States	Lon Kurashige (University of Southern California)	矢口祐人	2012.9.26	CPAS	アメリカ学会、基盤研究(A)「19世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究」
A New Ornament of the World? Australia and its Asian Cosmopolitan Futures	Baden Offord (Southern Cross University)	遠藤泰生	2012.10.16	CPAS	
Private Money, Affairs of State: Writing the History of American Philanthropy	Olivier Zunz (University of Virginia)	西崎文子	2012.11.1	基盤研究(B) 「近・現代アメリカ論の系譜—学際的・比較論的視点から」	CPAS、アメリカ学会
African Americans and the American Political System: From Slave Ships to the White House	Michael Frazier (Howard University)	遠藤泰生	2012.11.28	CPAS	アメリカ学会
The end of the World is nigh: not the Mayan calendar this time but, rather, climate change. Will the new Australian carbon trading scheme make a difference and what does it mean for Japan?	Justin Dabner (James Cook University / 東京大学アメリカ太平洋地域研究センター客員教授)	遠藤泰生	2013.1.22	CPAS	

II. シンポジウム等

- ・シンポジウム *Imagining the Pacific, Imagining Australia*
 日時：2012年7月27日(金) 14時半～17時半
 場所：東京大学駒場キャンパス 18号館 4階コラボレーションルーム 1
 基調講演：Anne Collett
 (東京大学客員教授／University of Wollongong)
 Imag(in)ing the Pacific: Modernist Women Artists
 報告：Nahoko Miyamoto Alvey
 (東京大学大学院教授)
 ‘A Wild Surmise’: Romantic Encounters with the Pacific
 Baden Offord
 (Southern Cross University)
 In the Pacific Imagining: the Empty Space of Australia
 Megumi Kato
 (明星大学教授)
 Australians in the Pacific War: Reflections through a ‘Japanese Mirror’
 Yasue Arimitsu
 (同志社大学教授)
 Australia as a Literary Device in Japanese Literature
 討議者：Toshiko Ellis
 (東京大学大学院教授)
 主催：東京大学アメリカ太平洋地域研究センター (CPAS)、
 東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構 (IAGS)
 共催：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「イギリス・ロマン主義時代と
 グローバリゼーション」
 後援：豪日交流基金、オーストラリア大使館

- ・シンポジウム「太平洋関係のなかのアメリカと日本 歴史からの問い」
 日時：2012年11月10日(土) 14時～17時
 場所：東京大学駒場キャンパス 18号館 1階ホール
 報告：酒井一臣
 (京都橘大学・文学部)
 「文明国標準とアジア太平洋秩序」
 廣部 泉
 (明治大学・政治経済学部)
 「アジア主義とアメリカ」
 三牧聖子
 (日本学術振興会・特別研究員(PD))
 「戦争違法化思想とアメリカ外交」

井口治夫

(名古屋大学・環境学研究科)

「経済界と日米関係——鮎川義介の日米経済提携構想を中心に」

討論：篠原初枝

(早稲田大学・アジア太平洋研究科)

司会：酒井哲哉

(東京大学・アメリカ太平洋地域研究センター)

主催：東京大学アメリカ太平洋地域研究センター (CPAS)、

東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構 (IAGS)

共催：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B)「近・現代アメリカ論の系譜——学際的・比較論的視点から」

・シンポジウム「国際移民と『故郷』」

日時：2012年12月16日(日) 15時半～18時

場所：東京大学駒場キャンパス 18号館4階コラボレーションルーム1

報告：佐原彩子

(青山女子短期大学非常勤講師)

「想像／創造される故国——ベトナム系アメリカ人コミュニティとベトナム共和国(旧南ベトナム)」

渡邊 暁

(山梨大学准教授)

「メキシコ・ユカタン州出身者の移民コミュニティ——カリフォルニアと故郷を結ぶ家族・政治・市民社会」

コメンテーター：一政史織(中央大学准教授)

モデレーター：遠藤泰生(東京大学大学院教授)

主催：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B)「移民とその故郷——非同化適応戦略とトランスナショナルリズム表象」

共催：東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構(IAGS)、東京大学アメリカ太平洋地域研究センター(CPAS)

Ⅲ. 研究プロジェクト

- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(A)
「19世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究」(代表：遠藤泰生)
- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(B)
「近・現代アメリカ論の系譜——学際的・比較論的視点から」(代表：西崎文子)
- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(C)
「トマス・ポーノルの18世紀北米体験と『植民地統治論』の形成」(代表：橋川健竜)

IV. 出版活動

- ・『CPAS Newsletter』 Vol. 13, No. 1 (2012年9月)、No. 2 (2013年3月)
- ・『アメリカ太平洋研究』 第13号 (2013年3月)

V. センター所属教員の2012年1月から12月までの研究活動

遠藤泰生

[その他の執筆]

- ・「覚悟の人：古矢旬先生を送る」『教養学部報』 544号 (2012年1月)、6頁。
- ・「移民・難民・市民権——環太平洋地域における国際移民：特集にあたって」『アメリカ太平洋研究』 第12号 (2012年3月)、5-8頁。
- ・(書評)「相対化と新しい総合：有賀夏紀・紀平英作・油井大三郎編著『アメリカ史研究入門』(山川出版社、2009年)」『アメリカ太平洋研究』 第12号 (2012年3月)、149-158頁。
- ・「古矢先生とアメリカ研究」『CPAS Newsletter』 Vol. 12, No. 2 (2012年3月)、2-3頁。
- ・「基盤研究(A) 19世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究/1」『CPAS Newsletter』 Vol. 12, No. 2 (2012年3月)、12頁。
- ・「グローバル共生プログラム (GHP)」『教養学部報』 546号 (2012年4月)、6頁。
- ・「アメリカ太平洋地域研究センター」『教養学部報』 546号 (2012年4月)、10頁。
- ・「ANZASA (Australian New Zealand American Studies Association) におけるアメリカ研究」『CPAS Newsletter』 Vol. 13, No. 1 (2012年9月)、2-4頁。
- ・「基盤研究(A) 19世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究/2」『CPAS Newsletter』 Vol. 13, No. 1 (2012年9月)、9-10頁。

[学会活動等]

- ・講演
“Conflict and Coexistence: the vision of the Pacific Ocean among the Japanese from the early 17th century to the mid-20th century,” University of the South Pacific (Suva, Fiji), School of Social Sciences, March 15, 2012.
- ・講演
“Seeking New Directions of American Studies in the 21st Century,” ANZASA (Australian New Zealand American Studies Association) 2012 Biennial Conference, University of Queensland, ANZASA, (Brisbane, Australia), July 6, 2012.
- ・コメント
東京大学大学院総合文化研究科第20回地域文化研究専攻公開シンポジウム「移動とネットワークから地域文化研究を考える」、東京大学駒場キャンパス 18号館 1階ホール、2012年10月27日。
- ・報告
「アメリカ史学研究の現在を考える：地域研究の視点から」、日本アメリカ史学会『アメリカ史学研究の現在を考える』、東京大学駒場キャンパス 18号館、2012年12月4日。

[受賞等]

- ・「平成23年度特別研究員等審査会専門員表彰」、日本学術振興会、2012年7月。

西崎文子

[学術論文]

- ・「転換点に立つオバマ外交——戦争『終結』後の課題」『国際問題』第609号、2012年3月、26-35頁。
- ・「ウッドロー・ウィルソンとメキシコ革命——『反米主義』の起源をめぐる一考察」『思想』第1064号、2012年12月、118-138頁。

[その他の執筆]

- ・「国際連合の成立(1945年)」、歴史学研究会編『世界史史料11 20世紀の世界Ⅱ 第二次世界大戦後 冷戦と開発』(岩波書店、2012年12月)、4-6頁。
- ・「単独行動主義」、「国際連合」、荒このみ・岡田泰男他編『アメリカを知る事典 新版』(平凡社、2012年4月)、368-369頁、216-217頁。
- ・「識者座談会 オバマ大統領再選」、共同通信社配信、2012年11月8日。

[学会活動等]

- ・司会
「『米国衰退論』再考」、アメリカ学会第46回年次大会シンポジウム、名古屋大学、2012年6月2日。
- ・運営委員会代表 日本アメリカ史学会。

酒井哲哉

[学術論文]

- ・「第Ⅱ部『思想』一〇〇〇号記念連続座談会 思想の一〇〇年をたどる 2 一九四五-一六五年 戦後の思想空間」(間宮陽介・中島岳志・司会=酒井哲哉)『思想』編集部編『『思想』の軌跡 1921-2011』(岩波書店、2012年)、94-127頁。
- ・「紹介 伊藤信哉『近代日本の外交論壇と外交史学——戦前期の『外交時報』と外交史教育』」『国際法外交雑誌』第110巻第3号、2011年11月、177-181頁。

[その他の執筆]

- ・「本の棚 鴨下重彦・池田信雄・川中子義勝・木畑洋一編『矢内原忠雄』」『教養学部報』546号(2012年4月)、6頁。
- ・「P・A・コーエン『知の帝国主義』」東京大学出版会『UP』編集部編『東大教師が新入生にすすめる本』(東京大学出版会、2012年)、46頁。

[学会活動等]

- ・司会
アメリカ太平洋地域研究センターシンポジウム「太平洋関係のなかのアメリカと日本——歴史からの問い」、東京大学駒場キャンパス18号館1階ホール、2012年11月10日。

橋川健竜

[その他の執筆]

- ・(書評)「常松洋・肥後本芳男・中野耕太郎編『アメリカ合衆国の形成と政治文化 建国から第一次世界大戦まで』(昭和堂、2010年)」「『アメリカ太平洋研究』第12号(2012年3月)、159-165頁。
- ・「文献補遺」有賀夏紀・紀平英作・油井大三郎編『アメリカ史研究入門』(山川出版社、2009年)、351頁(2009年刊行の書籍の第2刷(2012年)への補足)。

[学会活動等]

- ・編集委員 アメリカ学会 *The Japanese Journal of American Studies*。
- ・分科会幹事および司会
アメリカ学会第46回年次大会初期アメリカ分科会、名古屋大学、2012年6月3日。
- ・組織および司会
アメリカ太平洋地域研究センター公開シンポジウム *Imagining the Pacific, Imagining Australia*、東京大学、2012年7月27日。
- ・組織および司会
東京大学大学院総合文化研究科第20回地域文化研究専攻公開シンポジウム「移動とネットワークから地域文化研究を考える」、東京大学駒場キャンパス18号館1階ホール、2012年10月27日。

宮田智之

[学術論文]

- ・「ティーパーティー運動の一つの背景——コーク(Koch)兄弟についての考察」久保文明+東京財団「現代アメリカ」プロジェクト編『ティーパーティー運動の研究——アメリカ保守主義の変容』(NTT出版、2012年1月)、72-91頁。

[その他の執筆]

- ・「アメリカ進歩センター」、「イーグル・フォーラム」、「ケイトー研究所」、「スクール・パウチャー」、「ブルッキングス研究所」、「ヘリテージ財団」、荒このみ・岡田泰男他編『アメリカを知る事典 新版』(平凡社、2012年4月)、51頁、71頁、198頁、306頁、551頁、575頁。

福島啓之

[学術論文]

- ・「日米の平和の回復と日本の言論人——岩淵辰雄の終戦工作と民間憲法草案」『アメリカ太平洋研究』第12号(2012年3月)、79-95頁。
- ・「戦後日本の関係修復外交と近隣諸国の対日認識——援助、謝罪とナショナリズム」『国際政治』第170号(2012年10月)、109-124頁。

グローバル地域研究機構運営委員会（2012年度）

大学院総合文化研究科・教養学部

(機構長・運営委員長)

遠藤 泰生 教授

(副研究科長)

伊藤 たかね 教授

(言語情報科学専攻)

生越 直樹 教授

(言語情報科学専攻)

山田 広昭 教授

(超域文化科学専攻)

菅原 克也 教授

(超域文化科学専攻)

高田 康成 教授

(地域文化研究専攻)

増田 一夫 教授

(地域文化研究専攻)

和田 毅 准教授

(国際社会科学専攻)

荒巻 健二 教授

(国際社会科学専攻)

高橋 直樹 教授

(生命環境科学系)

豊島 陽子 教授

(相関基礎科学系)

岡本 拓司 准教授

(広域システム科学系)

梶田 真 准教授

(機構)

西崎 文子 教授

(機構)

酒井 哲哉 教授

(機構)

橋川 健竜 准教授

(機構)

石田 勇治 教授

(機構)

森井 裕一 准教授

(機構)

佐藤 安信 教授

(機構)

丸山 真人 教授

(機構)

遠藤 貢 教授

(機構)

東 大作 准教授

(機構)

杉田 英明 教授

(機構)

古田 元夫 教授

(機構)

月脚 達彦 教授

大学院法学政治学研究所・法学部

西川 洋一 教授

久保 文明 教授

寺谷 広司 准教授

大学院人文社会系研究科・文学部

水島 司 教授

中村 雄祐 准教授

諏訪部 浩一 准教授

大学院経済学研究科・経済学部

小野塚 知二 教授

大学院教育学研究科・教育学部

白石 さや 教授

大学院新領域創成科学研究科

中山 幹康 教授

柳田 辰雄 教授

情報学環・学際情報学府

姜 尚中 教授

東洋文化研究所

長澤 榮治 教授

佐藤 仁 准教授

以上 38 名